

心配させません努力します。

自身で服部商店の魅力って何かと考える時が有ります。お客様に聞いてもお上手を言うだけで本当の事は話して頂けません。

小生から言うのはおかしいですが、一言で言うと在庫能力だと思います。空の素晴らしい材が有る訳でも有りません。超幅広の材を持っている訳でも有りません。あくまでトータルの在庫能力だと思います。

樹種の豊富さ・サイズの豊富さ・安定した品質、管理が行き届いた在庫等色々な特徴の有る店だと考えています。

初めてお会いする方に言われること『社長は独特ですね』、これは個人的には嬉しく有りません。

社長自身のキャラクターが有るかも知れませんが、それは主観であって客観的な証拠でも有りません。また英語が堪能な訳でも有りません。来月63歳になる老い耄れです。この年になると正直エネルギーが切れかけています。

ところで昨年2020年2月から始まった世界的なパンデミックで仕入れが困難になりました。ラッキーかもしれませんがダイヤモンドプリンセス号から始まるパンデミック前の2020年1月にアメリカ出張が出来ました。その為に2021年度は皆様に在庫切れのご心配はかけませんでした。

しかし2020年12月～2021年1月にかけての今期のアメリカ出張が出来ない為に2022年後半に服部商店の最大の魅力が無くなってしまいかも知れません。

アメリカ出張で仕入れが出来ない材を30年前から取引しているアメリカ材の製品サプライヤーの現地挽と国内産広葉樹を積極的に集める事で、2022年に失うかも知れない服部商店の魅力【在庫能力】を維持する為に頑張って行動しました。

2021年9月末現在アメリカ出張が可能か否かは50対50の確立だと思います。12月になるのを待ってでは行動出来ないで、先月からアメリカのサプライヤーとメールのやり取りを始めました。

ブラックウォールナット・ハードメープル・ブラックチェリー・レッドオーク・ホワイトオークの5樹種に絞って今期は仕入れをします。(バーズアイ・カーリー・イエローポプラ等は見送ります)

とにかく、過去7年間築いてきたアメリカ人との信頼関係が上手く機能するかどうか解りませんが、最大の努力を惜しまずします。

コビット19・ロシア産広葉樹原木の輸出禁止・世界的な異常気象等々考えると、先々価格が何時頃安定するのか全く解りません。服部商店は本当に開かれた材木屋を営んでいます。

服部商店の魅力を失わないよう、精一杯頑張ります。

ブラックウォールナットは超原木高の超製品安です。

今年2021年度アラスカ産針葉樹の供給が無くなりました。来年1月からロシア産広葉樹原木の輸出禁止処置が発動されそうです。南洋材も原木輸入は不可能です。その中であって比較的安定して供給できる材はアメリカ産広葉樹材とヨーロッパ産広葉樹材と国内産原料になります。

10年前の服部商店の主力樹種は、アラスカ産針葉樹(スプルース)ロシア産広葉樹(ナラ・タモ)南洋材(アガチス)国内産広葉樹(カツラ)でした。この10年の間に大巾に取り扱う樹種を変えてきました。

2021年現在、仕入が思う様にならない材(ロシア産材・南洋材・カツラ等の国産材の一部)の在庫がまだ少し有りますが、取り扱い樹種の方を大幅に変えざるを得ないと思っています。

天然資源の材料の中でまだ安定供給に近い状態にあるのはアメリカ広葉樹だけです。しかしブラックウォールナットだけは世間で言う原木の需給バランスの価格決定手順が崩れています。具体的に言えば東海地方に有る複数の広葉樹の製品市場には、何故か解りませんが大量に乾燥材のブラックウォールナットの製品が現在の原木の先物の相場感から見て格段に安い価格で（品質は解りません）出品されているのです。換金とは言いませんが、現在のブラックウォールナット原木の現地価格から見れば激安です。毎月市を開催する関係者は口銭商売なので売れようが売れまいが関係有りませんが、我々在庫を持って商いをしている業者は決して良いイメージを持ちません。

服部商店は商社を介さず直接アメリカのサプライヤーと取引をしていますが、日本国内に有り余っているブラックウォールナットの耳付き板の激安価格は弊社にとってデメリットです。

従って東海地区に有る市場にない材を製材する事に 180 度切替えました。損（ブラックウォールナットの 4 5 ミリ巾 500 ミリ~600 ミリの耳付き材 30 枚を 40 ミリの丸棒に再加工し直しました）する事で新しいお客様との出会いが有ると思って思い切り決断しました。

ホワイトオーク材も超原木高ですが、やりがいがあります。

ロシア産ナラ原木の輸出禁止、国内産優良ナラ原木の枯渇によってアメリカ産ホワイトオーク材とヨーロッパ産ナラ材原木価格は暴騰しています。ヨーロッパ産も手掛けたいとは思っていますが、色んな制約が有って出来ませんが、近い将来扱いたいと考えています。

檜はナラです。櫟はオークです。数種類のホワイトオークは櫟（ナラ）です。服部雅章の櫟（オーク）材の考え方を記載します。

ウイスキーを作るのが櫟（オーク）と数種類のホワイトオークです。ウイスキーを作れないのが本当の櫟（オーク）ホワイトオークだとは判断していません。ホワイトオークはブラックウォールナットと違い扱いが非常に難しい樹種です。大阪で製材するのに適している時期は1月~3月、もしくは4月末です。それ以降に製材するとシラタが痛みます・木口割れが発生しやすいです。またブラックウォールナットのような巾 500 ミリ以上（100%の確率で割れます）広い板を製材する事も出来ません。又角材を製材しても内部割れが発生しやすいので90ミリ角より大きな角の製材も困難です。他方ブラックウォールナットはホワイトオークに比べて格段に楽です。【木材の初心者でも扱えるのがウォールナットです。ホワイトオークは初心者でも熟練者でも難しいです。】ホワイトオークの現地挽きも今までに5社の材の商いをしましたが、現在主力に扱っているシッパーの材以外は扱いません。というのは服部商店の扱っている現地挽と他社の現地挽の価格差はおおよそ 20%違いますが、使う方の立場で物事を判断する場合、削ってからクレームが発生する材を扱うのは間違っていると思います。服部商店の大方針【お客様の先のお客様も大事なお客様】は当たり前です。当たり前外れが絶対ないとは言えない天然の材ですが、プロの材木屋なら当たり前ではないでしょうか。

盛岡の報告



2021年9月16日に開催される東北産広葉樹原木市の下見に9月13日(月)に出掛けました。前ページの左が昨年2020年9月です。右が本年2021年9月です。少し撮影の角度が違いますが小生の肌感覚ではおよそ半分以下の出品だと思います。

また1日違いの9月17日に旭川にて開催される市も昨年在400 m³で、今年は300 m³です。およそ30%出材が減っているのです。特選木を含む良質材は皆無状態です。

最近ウッドショックのお陰で針葉樹原木の単価が上がっているのです、今までの常識から見れば針葉樹を大量に伐採すれば必ず広葉樹原木が出てきたのですが、出てないのです。この事はもう広葉樹原料の、特に良質材が枯渇している証拠だと思います。

北海道の森林の報告【もっと木材を大事に使って下さい】

9月16日から18日の日程で北海道の伐採現場の近くに行ってきました。9月は針葉樹の伐採が主で広葉樹の伐採はしていません。また良質の広葉樹は北海道の森林でもかなり奥にあるので簡単に行けません。伐採業者の方も全北海道の森林で伐採をしているので、私が見たい広葉樹の立ち木の有る場所には行けませんでした。先ほどの盛岡の報告でも述べましたが良質の広葉樹は枯渇しているのです。



上記左の写真は白老地区。右は日高地区。下の左の写真は帯広地区です。全て国有林です。

まだ多くの天然材の良質材が残っていると思いますが、伐採してはいけないと思います。理由は出材にはへり集材等の選木出材しか方法が無い事、切ってしまったら洪水等を防ぐインフラの破壊を招くこと、伐採コストが非常に高い事、子孫たちに残しておかねばならない責任が有る事

等々色々な理由が有りますが、この材を切れば、国民1億人の為の森林を守れないのです。

森林の役目とは、水源・観光・資源等の役割が有りますが、ごく一部の我々材木屋の為に存在しているのでは有りません。服部商店は、大事なものは情報公開だと考えています。木の事は国民の多くは理解していません。住まいを建てる時以外は家具を購入する時も意識しないと思います。

21世紀は日本国がどうやって生きていくのかをはっきりさせないとダメな時代だと思います。その為には我々が出来る事はプロフェッショナルとしての振舞いだと思います。情報公開こそ我々材木屋の仕事だと思います。

国民の負担にしないようにしてください。

2030年に北海道新幹線が札幌まで来ます。それは良いことだと思いますが、我々が知らない事を皆様にお知らせします。オリンピックの負の遺産。過去の大阪の大規模な開発の失敗の負の遺産等々、我々が知らないうちに税負担をしています。しかしこれから発生する負担の話をしてします。



羊蹄山（左の写真）の麓を新幹線が通ります。右が倶知安の新幹線の買収済みの土地です。



マスコミ報道で日本の水源地の土地が外国人に買い荒らされている事を聞いたことは有ると思いますが、それ以上に問題が起りかけているのです。上記の左右の写真の実質オーナーは外国人です。場所は倶知安・ニセコエリアです。北海道のゼネコンが建築を請け負っていますが、建築物の看板に中国語が書いているのを見て違和感が生じました。写真はごく一部ですが、こんな風景を見ると異様です。

この異様な光景を地元の方に質問しました。『これだけ多くのマンション・ホテルが出来たら水は足りるのですか』お答えは、およそ70億円の予算で羊蹄山の麓から水を引いてくるのだと仰っていました。

昨年から続いているコビット19の為にこの地区も他の北海道の観光地区と同じで、まるっきり観光客は来ていません。しかし北海道新幹線の新駅が出来るので、思惑でバブルを起こしているのです。

コビット19が近日中に収まるとは解りません。もしコビット19が収まっても、中国バブルが崩壊したら最後に負担を強いられるのは、日本人だと思います。

石油ショック・プラザ合意による超円高・リーマンショック・今回の世界的なパンデミック等と同じような経済危機が近い将来我々を襲うかもしれない世の中で有ることは、肌感覚で我々国民は理解しています。

外国人による倶知安・ニセコエリアの開発が、頓挫しないと言い切れません。日本人の経済政策の失策で失われた30年間、我々が負担してきた膨大な債務が現在の1000兆円を超える国の借金になってきたのではないのでしょうか。

我々が現在閉塞状況を打ち破るのは、我々自身の行動以外に方法は有りません。

服部商店は真実を述べます。

情報公開こそが我々プロフェッショナルの仕事です。それを精一杯淡々で行うことが来期の仕事だと思います。

負けないでコビット 19 からのセール

岸田総裁になり国は景気対策を実行するようですが、即ち効果が有るようには思えません。服部商店は年間を通して皆様の為にイベントを継続します。

2021年10月1日～10月31日

お得意先様向けのキャンペーン

毎週先着にて、30,000円以上（木材代金のみ・消費税・諸経費を除いて）御買い上げの5名様に、アマゾンギフト券5,000円を差し上げます。

新規のお客様限定のキャンペーンを実施

50,000円（木材代金のみ・消費税・諸経費を除いて）以上お買い上げの全員に、アマゾンギフト券10,000円を差し上げます。

